

特別活動(学校行事)におけるキャリア教育の取組

1 学校創立記念式典

目的

(1) 創立記念行事を通して、学校や地域の歴史と伝統にふれ、学校への所属感を高めると共に、率先して学校を大切にしていこうという意欲と態度を育てる。

(キャリアプランニング能力)

(2) 社会生活の中で、自らの役割や、働くこと、夢をもつことの大切さの理解、興味・関心を高め、社会性、自主性・自律性、関心・意欲等を養う。

(人間関係形成・社会形成能力)



取組の概要

創立記念式典 9:00~9:30

- (1) 開式の辞
- (2) 国歌斉唱
- (3) 校歌斉唱
- (4) 学校長挨拶
- (5) 育友会長挨拶
- (6) 創立記念日の歌
- (7) 土堂っ子太鼓発表 (6年生)
- (8) 閉式の辞

創立記念行事 10:00~11:15
フジテレビアナウンサー西山喜久恵さんによる講演

具体事例

創立記念式典では、会場は紅白幕で飾られ、児童は制服を着用し、多くの来賓を迎えて厳粛な雰囲気の中で式が行われる。

創立記念行事は、本校の卒業生または、ゆかりのある方を迎えて、演奏を聴いたり、生き方や夢について話を聞いたり、絵や話し方などのスキルを教えていただいたりする。いろいろな職業に就かれている方の講演や演奏を聴くことを通して、身のまわりには様々な仕事がたくさんあることに気づき、働いている人の思いや願いを考えたりすることができる。また、得意なことや好きなことを生かして将来なりたい自分の姿を描いたり、目標をもったりすることができる内容である。



平成23年度

沖田孝司さん ピオラコンサート



平成25年度

あきびんごさん ワークショップ



平成26年度

多田義彦さん テレビディレクター

特別活動(学校行事)におけるキャリア教育の取組

2 あじさい集会(全校)

目的

本校の先輩である林芙美子さんを偲ぶあじさい忌(地域の行事)に参加することで、他者とコミュニケーションをとる能力・態度や挨拶や返事、応答の仕方など、集団活動を通しての人間関係形成能力を育成する。

(キャリアプランニング能力)

取組の概要

- ①4年生発表…校歌, 学校坂道, 朗読「放浪記」
- ②校長先生のことば
- ③林芙美子さんについての話
- ④全校音読「放浪記」

具体事例

「4年生発表」では、あじさい忌で発表する内容を全校の前で発表する。③の「林芙美子さんについて」は、パワーポイントで地図や写真を見せながら、林芙美子さんの生い立ちや土堂小学校での様子、その後の活躍などの話を聞いて、偉大な先輩の功績や努力について知ることができる。

大正7年の卒業アルバムより



特別活動(学校行事)におけるキャリア教育の取組

3 あじさい忌(4年)

目的

本校の先輩である林芙美子さんを偲ぶあじさい忌(地域の行事)に参加することで、他者とコミュニケーションをとる能力・態度や挨拶や返事、応答の仕方など、集団活動を通しての人間関係形成能力を育成する。

(人間関係形成・社会形成能力)



取組の概要

参加者の前で、「校歌」と「学校坂道」を歌い、林芙美子さんの代表作「放浪記」を朗読する。その後、芙美子像へ持ってきた紫陽花を献花する。他団体の発表を聴いたり多くの参加者に発表を聴いてもらったりして行事に参加することで、改まった場で緊張感をもって発表をする経験ができる。

特別活動(学校行事)におけるキャリア教育の取組

4 林間学校(5年)

目的

- (1) 自分の考えを伝え、違いを認め合うとともに、他者の意見を受け止めながら仲間と力を合わせて取り組む。

(人間関係形成・社会形成能力)

- (2) 自ら考え、困難だと思う課題に対して果敢に挑戦する。

(課題対応能力)

取組の概要

第5学年が福山少年自然の家で3泊4日の林間学校を行う。



SAFプログラム

楽しみながら課題解決に取り組むグループ活動を通して、「主体性」・「コミュニケーション」・「チャレンジ」・「協調性」の、4つの力を育成する。



飯ごう炊さん



ウォークラリー



Being

良好な人間関係づくりを促進する SAFプログラム

広島県立福山少年自然の家では、平成27年度からアメリカで開発された冒険教育（体験学習法）の一つである「プロジェクトアドベンチャー（以下「PA」という。）」の理論や手法等を生かした活動プログラム『SAF（サーフ）プログラム』を本格実施します。

※ SAFプログラムは、「Step of Adventure in Fukuyama」の頭文字を取り、『福山少年自然の家で冒険の一步を踏み出そう!!』というプログラム実施の意図を込めた名前です。

主体性



自ら考え、
物事に進んで取り組む力

コミュニケーション



自分の考えを伝え、
他者の意見を受け止めながら
意思疎通を図る力

SAFプログラムのねらい

福山少年自然の家の自然環境（非日常）の中で、楽しみながら課題解決に取り組むグループ活動を通して、4つの力を育成します！！

チャレンジ



困難だと思う課題に対して
果敢に挑戦する力

協調性



自他の考え方の違いを認め
仲間と力を合わせ取り組む力



特別活動(学校行事)におけるキャリア教育の取組

5 二分の一成人式

夢と志を育む 二分の一成人式

贈
尾道市立土堂小学校
創立百十周年記念事業協賛会

目的

学校週5日制の趣旨を踏まえつつ、保護者や地域住民等の協力を得て、ふるさと尾道に対する郷土意識の向上を図る。また、本校卒業生をゲストティーチャーとして迎え、生き方や考え方を聞くことで、日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付いたり学んだりし、将来の夢や希望をもつ。

(キャリアプランニング能力)

取組の概要

尾道市立土堂小学校二分の一成人式 式次第

- 1 開式の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 校歌斉唱
- 4 校長先生のお話
- 5 育友会長御祝いのことば
- 6 来賓紹介
- 7 4年生児童 発表
「二十歳の自分へ」
- 8 ようこそ先輩
本校卒業生による講演
- 9 児童会長 挨拶
- 10 閉式の辞



4年生は、全校児童や4年生保護者、地域の方の前で、自分の夢ややりたい自分について一人ずつ語る。

また、「ようこそ先輩」では、本校卒業生で現役大学生である先輩の小学生時代の話や夢、生き方についての話を聞いた。話を聞く中で、自分の仕事に対して責任をもち、見つけた課題を自分の力で解決しようとすることや将来の夢をもち、実現を目指して努力しようとする気持ちをもつことができた。

総合的な学習の時間におけるキャリア教育の取組

1 第4学年「絵のまち尾道」

目的

小林和作の創作活動や生き方について調べ、将来なりたい自分の姿を描いたり、目標をもったりすることを通して、今、自分がすべきことを考え、目標をもって努力しようとする意欲を高める。

(キャリアプランニング能力)

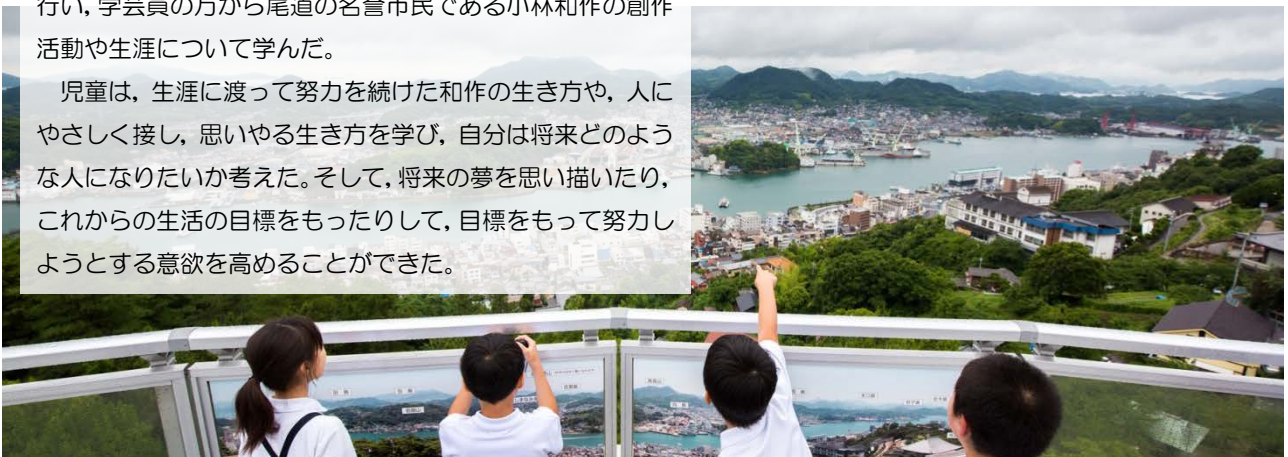
取組の概要

- 尾道名誉市民である小林和作をテーマに取り上げた探究的な学習を行う。
- 尾道市立美術館で調査活動を行い、学芸員から小林和作の作品のよさや生き方を知る。
- 小林和作について調査した内容を基に自分の生活を振り返り、自己の生き方を考える。
- 画家になったつもりで尾道の風景を眺め、改めて尾道の風景の素晴らしさを感じる。

具体事例

児童は、学校の校長室に飾られている小林和作の作品を鑑賞し、疑問に思ったことを基に、和作の作品や生涯などについて学習課題を設定した。その後、尾道市立美術館で調査を行い、学芸員の方から尾道の名誉市民である小林和作の創作活動や生涯について学んだ。

児童は、生涯に渡って努力を続けた和作の生き方や、人にやさしく接し、思いやる生き方を学び、自分は将来どのような人になりたいか考えた。そして、将来の夢を思い描いたり、これからの生活の目標をもったりして、目標をもって努力しようとする意欲を高めることができた。



総合的な学習の時間におけるキャリア教育の取組

2 第5学年「映画のまち尾道」

目的

(1) 働いている人の仕事の内容や願いについて質問することで、責任をもって働くことの大切さに気付く。

(人間関係形成・社会形成能力)

(2) 得意なことや好きなことを生かして将来なりたい自分の姿を描いたり、目標をもったりすることを通して、できることをやり尽くそうと努力する意欲を高める。

(キャリアプランニング能力)

取組の概要

- ・本校の卒業生である大林宣彦監督をテーマに取り上げた探究的な学習を行う。
- ・ロケ地に出向いたり大林宣彦監督を招いたりして調査活動を行う。
- ・調査内容を振り返り、改めて尾道の風景の素晴らしさと人々の心の豊かさを感じる。
- ・調査活動における人との出会いを基に自分の生活をふり振り返り、自己の生き方を考える。

具体事例

児童は、「なぜ、大林監督は尾道を舞台に映画をたくさん撮影されたのだろう」という学習課題を解決するために地域に出かけて多様な方法で調査を行った。

その中で、大林監督の映画のロケに関わった人々と出会い、映画づくりという仕事に対する思いや願いを知り、信念をもって仕事に取り組み、協同で仕事をやりとげることの素晴らしさを感じる事ができた。

最後は、大林宣彦監督本人が児童の要請に応じて実際に学校に来て下さり、児童の質問に答えて下さった。このことを通して、児童は自分たちの主体的な学びに対する自信や達成感を感じるとともに、目標をもって取り組む素晴らしさを実感した。また、郷土尾道の豊かさを知り、将来の夢にむけて、感謝の心をもって取り組もうとする意欲を高める事ができた。



学校生活全般におけるキャリア教育の取組

1 土堂っ子太鼓



目的

伝統の太鼓活動を通して次の2つの能力の育成を図る。

(1) 高学年は、毎日練習する中で友達と心を合わせて演奏する。

(人間関係形成・社会形成能力・自己理解・自己管理能力)

(2) 子どもたちによる、自治的な考えによって活動する。

(3) 低学年は、高学年の姿を見ることであこがれの気持ちをもつ。

(キャリアプランニング能力)



児童による指導

取組の概要

- ・太鼓の練習
- ・太鼓の発表

具体事例

- ・朝休憩，昼休憩の太鼓の練習
- ・学校行事(11回)，地域行事での発表(6回)

学校生活全般におけるキャリア教育の取組

2 そうじ活動

目的

掃除活動を通して次に2つの能力の育成を図る。

- (1) 高学年にあこがれたり、低学年に教えたりすることを通して自分にできることを見つけ、進んで実践する態度を育てるとともに、地域の方や自分達を支えている存在に対する感謝の気持ちをもつ。

(人間関係形成・社会形成能力)

- (2) 責任をもって働く態度を身につけ、奉仕することの大切さを理解する。

(キャリアプランニング能力)

取組の内容

- ・朝掃除を行う。(高学年)
- ・昼掃除を行う。(全校児童)

具体事例

- ・掃除場所を無言できれいにし、掃除の振り返りを行う。
さ・・・さっさと(時間を守って)
し・・・しずかに(無言で)
す・・・すみずみまで
せ・・・せいっぱい
そ・・・そうじ道具の片付けをしよう
- ・掃除場所によって異学年で掃除を行う。

学力の土台となるモジュール授業におけるキャリア教育の取組

目的

- (1) 集団で音読したり、一斉に声を出したりする等、集団や相手を意識し他者と協力・共働する活動を通して、他者に働きかける力や集団で学ぶことに参画する積極性・主体性を育むことを目指す。

(人間関係形成・社会形成能力)

- (2) 課題に対し児童自らが「自分の限界の一步先」の目標を設定し、計画的に課題を処理し、自分の力で解決しようと努力する活動を通して、課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする力を養うことを目指す。

(課題対応能力)

取組の概要

本校のモジュール授業は、国語科・算数科・その他の教科等の内容を、それぞれ15分間のユニットとして指導している。

毎週水・木曜日の8:50~9:35までの45分間、児童が集中して徹底反復学習に取り組むことができるように「スピード・テンポ・タイミング・個へのアプローチ」をキーワードとして、全校で取り組んでいる。

また、毎時間記録をつけていくことで自分の成長を感じ、新たな目標をもって取り組むことができるよう工夫している。

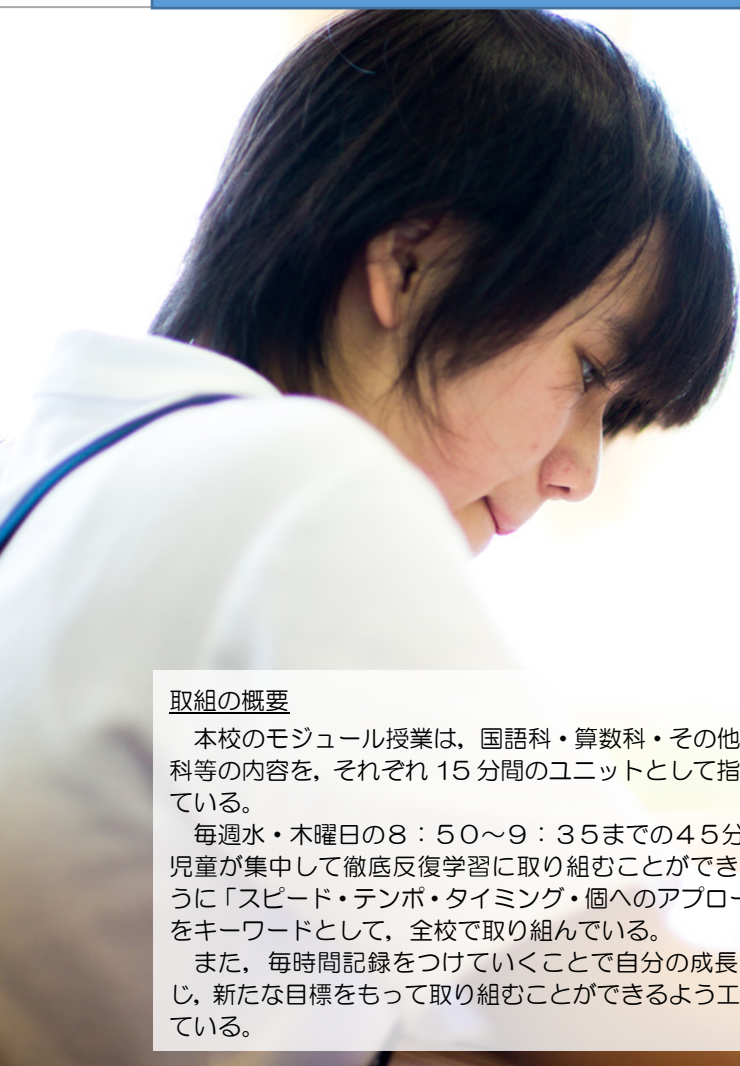
国語科



算数科



その他



委員会活動におけるキャリア教育の取組

1 報道委員会 ブログ記事作成

目的

学校生活や友達との事、郷土尾道の事を記事に書くことで、子ども自身が情報発信を担っているという自覚と、委員会活動の仕事に誇りを持って取り組む力を育てる。

(キャリアプランニング能力)

取組の概要

自分たちで設定した一週間に2つ以上の記事を書くという目標達成を目指し、ブログ記事を書く。

他校の小学校のブログ記事に対して、コメントを書く。ブログを通して、他校の小学校の児童と交流をはかる。

記事を一定数書いた児童には、「ブログマスターカード」を授与する。数は50、100、150というように、記事数が50個ごとにカードを授与する。

コメント

こんにちは。みかんです。
最近、他の学校のブログにコメントを書いています。
コメントをもらうのもうれしいし、書くのも楽しいですね～。
それに、他の学校のブログを見るのも楽しいんです！！
これからも、たくさんの学校のブログを見たいと思います。
皆さんも見てみてくださいね！！



みかん(6年生)

(児童が書いたブログ記事)



委員会活動におけるキャリア教育の取組

2 報道委員会 写真撮影

目的

給食風景や尾道の街の写真撮影を通して、コミュニケーション能力を育てる。

(人間関係形成・社会形成能力)



(給食風景の撮影)

取組の概要

美味しそうに給食を食べる様子や、尾道の素敵な場所を撮影し、写真をホームページに掲載する。

給食風景の撮影の際は、被写体となる児童に話しかけながら撮影したり、街を撮影する際は、行き交う人たちに自分から挨拶をし、もし話しかけられたりしたら会話も楽しむ。

